

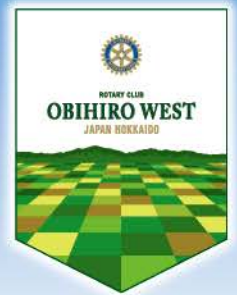


# 帯広西ロータリークラブ

## 第2325回例会

### 2020.10.22

# 会報



■RI第2500地区テーマ■

ランクアップしましょう

■クラブ・テーマ■

化学反応を起こす出会いの機会を作ろう

**会長報告**

会長代理 森 房明 副会長

本日は佐々木会長不在のため、会長代理報告をさせていただきます。創立50周年実行委員会幹事として準備を進める中で、創立30周年について大変興味深かったので、お話しさせていただきます。



30周年記念事業は内部への発信・充実をコンセプト「たいまつを受け・・・今時代への昇華」をテーマに創立30周年記念フォーラムが開催されました。

年代別に70歳以上、60代、50代、49歳以下に分かれてそれぞれ1名が代表してパネリストになり、フォーラムを行いました。コーディネーターは川田会員です。

抜粋すると、テーマ1「西クラブ創立時の精神とは」について、70歳以上委員会の帯広クラブと北クラブに入会していたメンバーから、それぞれが抱えるロータリーに対する問題意識を共有し、悪しき慣習なら変えていこうとするが自分たちの理想とする新たなクラブを創立するために帯広西RCが誕生した。

テーマ2「西クラブらしさとは」、テーマ3「西クラブを変える」と、テーマ4「西クラブの理想とは」について、50歳代委員会から「西クラブに入りたい。入ると人間としてよくなる」「入会できるまで一年待ちなさい」といえるクラブにしたい。質より量の会員は要らず、女性会員もロータリアンとして考え、長老も先輩も若手も仕事の話も家庭の話もできる楽しいロータリーにしたい。

「西クラブに勧誘する時、みんな仲のいい団体だからとかゴルフができるとかこういうことだけがクローズアップされて、奉仕活動に汗を流していないのでは」と、当時からこのような傾向があったのか現クラブを予言しているかのようです。

このような30周年当時在籍されていたメンバーの英知を集めた意見をもとに「たいまつ宣言」が採択され毎月第1例会で唱和されています。この宣言はわがクラブ独自のものです。機会があればぜひ創立30周年記念誌をご覧ください。

**会務報告**

小野 辰夫 幹事

①帯広西RC、夜間例会開催のご案内  
日 時 10月29日(木)午後6時30分  
場 所 北海道ホテル  
※酒宴なしの通常例会となります。

②帯広北RC、10月30日(金)の例会は、休会と致します。

帯広東RC、11月3日(火)の例会は、祝日のため休会と致します。

帯広南RC、11月9日(月)の例会は、休会と致します。

帯広南RC、11月23日(月)の例会は、祝日のため休会と致します。

③帯広西RC、夜間例会開催のご案内  
日 時 11月26日(木)午後6時30分  
場 所 北海道ホテル  
※酒宴ありの例会となります。

④帯広南RC、夜間例会開催のご案内  
日 時 11月30日(月)午後6時30分  
場 所 北海道ホテル

**委員会報告**

(ロータリー情報委員会)

千葉 清秀 委員長

例年の家族集会を催しますがコロナの影響もあり班の数を多くして少数にて活発な議論と懇親を深めて戴きたいと思えます。

**ニコニコ献金**

長平 圭太 親睦活動委員長

松原広報委員長(担当例会)、柳沢会員(鳥せいチェーン社長交代)、高橋会員(ゴルフコンペ優勝)、長平会員(ニコニコ発表)



ニコニコ 献 金	10月22日	8,000 円
	累 計	300,000 円 (10月22日現在)



会 長 佐々木和彦  
幹 事 小野 辰夫

副会長 森 房明  
副会長 太田 豊

会場監督理事 菊池 俊博  
プログラム委員理事 熊切 宏樹

発行：広報委員会  
委員長 松原 宏樹 (副)郷 誠一



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)  
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル東館3階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

今年度は、広報委員長を経験してと題して、最近2年間の広報委員長及び今年度広報委員長で進めて行きたいと思います。

## 「会員卓話」

### 菊池 俊博 前々広報委員長



2年前に広報委員長を務めさせて頂きました菊池です。私が、広報委員長を務めたのは当時、入会6年目だったのですが、広報委員会への所属経験がないこともあり、物凄く不安いっぱいでした。私を含めた5人が広報委員会への所属経験がない、ということで会報誌発行における作業の流れなどの説明にも苦労が予測されましたがベテラン会員の奥会員・堂山会員のアドバイスやヒントを頂いた事により、会報誌発行マニュアルに辿り着くことが出来ました。工藤会員が担当例会で会報誌作成手順を説明された内容です。

次に担当例会のお話をさせて頂きます。この年度の担当例会は2回の割り当てがありました。西クラブ電波よりと題した担当例会をFM-JAGAさんの上野山さんと太田さんをゲストにお招きし佐藤会長との掛け合いを行っていただき、太田さんには司会進行とインタビューを行っていただきました。そして例会時の音声を録音し10分間程度の放送をして頂きました。2回目の担当例会はOCTVさんの丸山社長にお越し頂き地域に寄りそうケーブルテレビの出来ることのテーマにてご講演頂きました。また、この例会の1か月前には佐藤会長・小谷幹事・わたしの三人でスタジオにお邪魔し西クラブのPRムービーの収録をし、3分間程度で「あおぞら放送局」という番組内でご紹介頂き1日5回の放送を1週間繰り返されました。

広報委員長を務めた時の話で何を伝えたかったかと言いますと、苦手なことや嫌いなことは可能な限り避けたいとは思っても、気持ちを切り替えることにしてスタートしてみると、会長・幹事からは激励の言葉や沢山のフォローを、委員会メンバーからは豊富なアイデアやアドバイスを頂いてチームワークを感じました。そして自分の中で自然と変わっていったことがあり、活動を通じての人との関わりから良い結果や成果に繋がっていく。こういった経験を通じて亡平田会員が大切にされていた絆から生まれる大切なものを感じました。

私は活動を通じて少しか自信に繋がりと、今後の人生の糧になるのも西クラブに所属しているからだと思っております。また、西クラブのFacebookを見かけた時には、いいねを押してほしいと思います。担当者は少しか励みになり少しか力に変わると思います。これからは西クラブの大先輩方のもと多くの事を学ばせてもらいながら、自分の役割を果たしクラブの社会的役割を考えながら、楽しく有意義な時間を皆様と過ごしていけたらと思っております。

### 辻田 茂夫 前広報委員長



2019-2020年度広報委員長を担当いたしました辻田です。私が広報委員長になった時、まず自分に何が出来るかを考えました。よく「巧運は拙速に如かず」と言います。広報委員会の場合は多少の粗があっても遅くちゃダメな仕事だと思います。会報作りでもっとも時間がかかるのは何と言ってもテープ起こしです。仕事柄、IT技術を使うことは慣れておりますし、この作業をなんとか省力化できないものかと思って情報を探しました。ここ二三年で音声認識の技術が非常に発達しました。見つけたのが、IBMのWATSON Productsという人工知能を利用したクラウドサービスです。このサービスの中にはSpeech To Textと呼ばれる音声データを聞き取って文字起こししてくれるサービスがあります。本来は有料です。

次に考えたのがドキュメントの整備です。コンピュータ業界ではマニュアルや手順書や設計書などをひっくり返して「記録」という意味です。前述したサービスに対するマニュアルを作成することにしました。前任広報委員長の菊池さんをはじめ、歴代の広報委員長の方がいろいろな資料を取りまとめくださっておりましたので、新しく加えた

部分だけでたいへん助かりました。IT技術の利用にはメリットもたくさんあるんですが、いざどこかで躓くとデメリットもあります。自分でやる分にはなんとということはない作業も、人様にご指導するとなるとけっこう大変ですし、トラブルにあった委員の方にも余分なストレスをおかけします。トラブル対応のことを考えテキスト起こしまでは自分一人でこなし担当委員の方にお渡しするようにしていました。また写真の撮影も自分一人で撮影していました。今思えば、体験していただいた方が良かったし、その時は考えが及びませんでした。いろいろと反省点も多く、また新型コロナウイルス禍で例会開催数が限られた年度ではありましたが、その中でも若林直前会長のビデオメッセージを公開したことや西ロータリー通信の発行など例年では体験できない広報委員長を経験させていただき、誠にありがとうございました。昨年度の反省点を踏まえ、また何かのお役をいただくようなことがあれば、上手にみなさんに仕事をお願いし、適度に汗をかいていただけるよう心配りをしていきたいと思っております。

### 松原 宏樹 広報委員長



今年度広報委員長を務めさせて頂いております松原です。今年度は、佐々木会長の掲げます「化学反応を起こす出会いの機会を作ろう」というクラブテーマを基に西クラブの良い雰囲気や様々な方面に情報発信出来るよう心掛け活動しております。私は今年度で入会して6年目、広報委員会は4回目です。人員の配置を決める際にこの男なら文句も言わず普通にやってくれるだろうと思われているのか、それはそれで嬉しいことだと感じております。

今のところ委員の皆様のご協力のおかげで、滞りなく会報は発行されております。5年前と比べると世の中の技術の進歩のお陰で、普通にパソコンが使える人にとっては劇的にテープ起こしの作業が楽になりました。音声を文字に変換できるサイトを辻田前委員長に教えて頂き、ある程度は文章が出来上がります。一人年5、6回の当番は委員の皆さんにしてみると大きな負担と思い、皆さんに改めましてお願いなのですが、お話しされる方、講師の方にできる限りデータを頂けるようお願いいたします。原稿の無い方は滑舌よくお話しけると助かります。私は委員だった頃は、写真を写し音声を起こし、会報の原稿を作るのが役割なのだと思っていましたが、広報委員長に任命され活動方針を考えようとした時、初めてロータリークラブの広報についてRI規模で見ると広報の目的はロータリーへの理解、プログラムへの協力・支援を助長すること。広報とは3つあり、1つめは対外的、2つめは他クラブへ、3つ目は自クラブへとなっております。あくまでも1つの例ですが、FM-JAGAでスポンサーとして週に一度、番組を放送しました。意外に若い年代の方が、思った以上に反響が大きかったと驚きました。私たち西クラブの活動も時代とともに変化していくべきだと思ひ、将来を見据えた時に今の若い人達に少しでも西クラブの存在を知ってもらい、長く続き栄えていくきっかけの1つになるのではと思ひます。

私は会社が芽室に在りながら、西クラブに誘って頂けて良かったと思ひます。多分西クラブに入会していなければ、知り合うことも出来なかったであろう方々と知り合え、沢山の良い仲間と巡り会え一緒にお酒を酌み交わし、親しくお話をさせて頂き楽しく有意義な時を過ごしていると実感しています。話が大きくなってしまいましたが、人生には何度も選択と決断の機会があり、こんな世界があるのだなど、誘って頂いた方には非常に感謝しています。次年度西クラブは50周年を迎えます。対外的にPRするチャンスでもありますし、様々な事を変えるチャンスだと思います。私では成しえなかった夢を次年度の広報委員長に託し私のお話を終らせて頂きます。